

稲城野草散策の会

野草スケッチ サワフタギ (ハイノキ科)



1996/05/13 稲城市坂浜 絵と文 Ta

最近の新興住宅街には〇〇台とか〇〇ヶ丘といった名前が多い。
単なる流行なのかと思っていたら、別の理由があるという話を聞いた。
それは、沼や湿地を表すような地名では、住宅の買い手がいないのだそうである。
東京には湿地だったことを示す地名がたくさんある、といったら驚かれるだろう

会報第88号 2012年4月22日発行 発行責任者 尼子 房夫

か。

渋谷、日比谷、世田谷、市ヶ谷、四谷、溜池、荻窪、などは湿地の名残だという。もちろん今は湿地ではないし、過去の履歴が土地の評価を下げることにはなっていない。

植物好きから見ると、湿地はおおいにそそられるものがある。

水があり泥があり、ふりそそぐ日光がある。

豊富な植物、昆虫、魚、カエル、ヘビ・・・たくさんの生物が見られる場所なのだ。

都会の周辺にはもう、そんな「楽園」はなくなってしまった？

ところが、谷戸田という形で、多摩丘陵にもまだまだすばらしいフィールドが各地に残っている。

多摩丘陵周辺では「谷戸」と呼ぶが、千葉県や鎌倉などでは「谷津」という。意味は同じである。

ただし、植生は千葉と多摩丘陵では少し違いがあるようだ。

今年（2002年）、稲城野草散策の会では4月の行事に、千葉市若葉区の雑木林と谷津田を観察地として選んだ。

千葉にはパソコン通信で知り合った植物仲間が何人かいるのが心強い。

中でもOさんはたいへん熱心で、千葉のフィールドで何回かオフ（観察会）を行っている。

私も共同幹事として、毎年2～3回訪れていて、フィールドの状況、植生はかなりわかってきたことが、千葉を選んだ背景にあった。

Oさんには当日の案内をお願いして、快く引き受けていただいた。

Oさんはパソコンのテクニカルライターという肩書きを持つ魅力的な女性である。私の娘といってもおかしくないような年齢、若い。

何度も千葉でオフをやったのは、彼女の誘いでは断れないということもあった。

（べつにやましい気持ちはありません(^_^)

Oさんが樹木を覚えだした頃、サワフタギが好きだといっていた。

花の時期は外れていることが多かったので、葉の特徴や冬芽の見方を教えたものである。

千葉の雑木林にはサワフタギが意外と多いことを知った。

サワフタギは「沢塞ぎ」で、沢をふさぐほどに枝葉が繁ることからの命名らしい。

しかし実際には沢よりも乾いた雑木林の中で見かけることが多い。
サワフタギの実は瑠璃色。樹木には珍しい色合だし、きれいなので人気がある。
別名をルリミノウシゴロシという。
ウシゴロシとはカマツカのことで、枝ぶりや葉がカマツカに似て、果実は瑠璃色、
という特徴を現している（カマツカの果実は赤色）。

稲城野草散策の会で千葉へ出かけた目的の一つに、クマガイソウがある。
完全な野生とは言い難いが、農家の庭などで保護されているクマガイソウを数箇
所で見ることができる。
残念ながら今年は早くに花が咲き、われわれが行ったときには完全に終わってい
た。
さらに悪いことに、終日雨がしとしと降る天候で、傘を手放せない。
クマガイソウはダメだったが、代わりにキンランが大量に咲いていて、雨の中集
まった36人の参加者を喜ばせた。
例年なら5月の連休過ぎに咲くサワフタギも花を付けていた。
季節が狂っても、植物観察では見るべきものがたくさんある。空振り三振には、
まずならない。

千葉の谷津田の豊かさも皆の印象に残ったようだ。
季節を変えて、また行ってみたいと考えている。
（2000年5月記）

* * * * *

〔観察記録〕 3月25日 片倉城址公園

春は名のみ風の寒さよ。それでも花を求めてJR片倉駅に78名が集合しま
した。

片倉城址は築城や変遷がよく分っていませんが、空堀・土塁等の名残があり、
中世城郭の形態を示す典型です。現在は公園として整備され、水車小屋や長崎の
「平和祈念像」の彫刻家（北村西望）の作品など17基の彫刻が設置されていま
す。

お目当てのカタクリはまだまだ硬い蕾でした。冬芽はかなり膨らみ始めていま
したが、花は少なく、アオイスミレが清楚に咲きだしていました。

春が遅いお蔭で、一人ではなかなか分らない、ロゼットや幼葉の観察がよく出
来て、とても参考になりました。

昼食後、二の丸広場から丘上に広がる畑地を通り、2010年4月開園の「片倉

つどいの森公園」、丘上の広大な草原広場へでました。一部斜面林を残してありますが造成地は植物がさみしいです。大鯉が沢山泳ぐ湯殿川へ降り、ぐるっと片倉城址公園へ戻ってきました。

JR片倉駅で解散後、オプションで八王子みなみ野駅まで雑木林を散策しました。(ぼんこ)

当日、某民家の庭先で撮影されたカタクリの花です。(おーばさん撮影)



▼観察記録 (番号順)

1ラクウショウ、2キブシ、3アズマイチゲ、4ヤマグワ、5ニリンソウ、6ヒメオドリコソウ、7ヤエムグラ、8カイコバイモ、9バイモ、10ミズキ、11ウバユリ、12アブラチャン、13セントウソウ、14アキノタムラソウ、15タマノカンアオイ、16ランヨウアオイ、17タカオヒゴタイ、18ミツバウツギ、19アオイスミレ、20カントウカンアオイ、21キツネノカミソリ、22フクジュソウ、23タチツボスミレ、24ヤマイタチシダ、25ムラサキシキブ、26ヤマトリカブト、27ヤマブキソウ、28マユミ、29タカオスミレ、30カタクリ、31アオキ実生、32シュンラン、33タマキクラゲ、34オオハナワラビ、35オオツクバネガシ、36カヤ、37キツタ、38テイカカズラ、39フジ、40クマノミズキ、41ソメイヨシノ、42マグワ、43ナズナ、44ホトケノザ、45ノゲシ、46オランダミミナグサ、47、スカシタゴボウ、48キツネアザミ、49タネツケバナ、50オギョウ (ハハコグサ)、51ウマノアシガタ、52キジムシロ、53ミツバツチグリ、54ヤマボウシ、55ヤブカンゾウ、56ミチタネツケバナ、57ミミナグサ、58ヒメカンスゲ、59トラノオシダ、60スズメノヤリ、61ガマズミ、62ヤマザクラ、63ハコネウツギ、64オヤブヅラミ、65ゴンズイ、66ウグイスカグラ、67ニワトコ、68ツルマサキ、69ヤマツツジ、70スイカズラ、71欠番、72ツリバナ、73ヒメリュウキンカ

カウントしませんでした。ツリガネニンジン、フデリンドウ、キクザキイチゲもありました。

〔行事予定〕 2012/4/22 (日) 千城台 (ちしろだい)

項目	説明
集合	am10時、千葉都市モノレール線千城台北駅 改札口付近 ※会旗目標 千城台北駅の改札口は一箇所だけです
交通	総武線千葉駅で総武本線に乗り換え、都賀(つか)駅で千葉都市モノレール線に乗り換えます
行く先 (解散場所)	千城台北駅から雑木林の中を観察して歩き、千城台駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	キンラン、時期が合えば保存中のクマガイソウが見られるかも
地図	
コース	千城台北駅→雑木林の中を観察→千城台駅 (解散) コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2012/5/13 (日) 三沢川下り

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 小田急線の場合は、永山駅または多摩センター駅で京王線に乗換え 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています ジュウニヒトエなど春の花が見られると思います
地図	
コース	<p>若葉台駅→若葉台公園→上谷戸親水公園→高勝寺→清水谷戸→学園 広場→三沢川遊歩道→稲城駅(解散)</p> <p>行程5~6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円